

平成31年度2年生向け
ギャップタームに関する説明
(2019年2月4日)

2学期クォーター制を活用しよう！

ギャップターム：2年次第2クォーター＋夏休み

必修科目が無く自由に活動できる期間(6/12～9/30)

2学期クォーター制

| | | | | | | | | | | | |
|---------|---|---------|---|-----|---------|----|---------|----|-----|---|---|
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
| 前期 | | | | | | 後期 | | | | | |
| 第1クォーター | | 第2クォーター | | 夏休み | 第3クォーター | | 第4クォーター | | 春休み | | |

1 留学しやすくなる

これまでは、学期途中で留学すると、その学期の単位を修得することは困難でした。しかし、2学期クォーター制では、1つのクォーターと休みの期間を組み合わせることで、在学したまま海外の大学のサマースクールや短期留学に参加した上、4年間で卒業することも可能となります。

2 多様な学外活動

まとまった時間を利用してボランティアやインターンシップに参加する等、4年間の大学生活でできることの選択肢が増えます。

3 集中的に学修

週1コマ8週の授業、あるいは週2コマ8週の授業により短期集中的に学修することができます。



神戸大学GCP, インターンシップ, 講演会・講習会への参加, 資格取得, その他学力向上のための取組.

ギャップターム計画書・報告書およびスケジュール

ギャップターム計画書＋ギャップターム報告書

- 第2Q開始前に計画書を、ギャップターム終了後に報告書を必ず提出すること。

スケジュール（変更される可能性があるため各種掲示板を確認してください）

3月下旬： 研究室インターンシップ申込開始～

4月上旬： 面談時にギャップターム計画書(案)を提出

4月上旬： 課題解決型アクティブラーニング申込開始

5月中旬： **ギャップターム計画書(最終)提出締切**。

(計画書のコピーを提出すること。本紙は報告書作成のためにもっておくこと。)

10月中旬： **ギャップターム報告書の提出**

ギャップターム開講科目(英語特別演習, 機械工学
インターンシップ)の単位認定申請

ギャップターム計画書

[1] 学籍番号 _____ 氏名 _____

[2] ギャップタームの目標

・企業インターンシップおよび研究室インターンシップを通して、機械工学の知識がどのように活かされるか体験する。

・TOEIC 700点突破

・プログラミング学習, JAVA を習得。

・日本一周することで機械工学の役割を学ぶ。

・バイクの車検を自力で通せるようになる。

Wordファイル, PDFは機械工学科HP
からダウンロード

[3] 計画概要

〇〇株式会社 インターンシップ (申込) (6月19日~23日)

〇〇研究室インターンシップ (申込) (8月予定)

TOIEC 受検 (7月23日)

高度教養科目〇〇〇 受講

機械工学概論 受講 (9月下旬)

ギャップチーム報告書

学籍番号

氏名

1. はじめに

A4レポート用紙

ギャップチームの達成目標，目的は何であったかなどを述べる．

2. 実施内容

目標，目的の達成のために何を行ったか．

3. 結果（・考察）

どのような成果が得られたか，またはその過程でどのような発見や知見が得られたか．

4. まとめ

ギャップチームでの活動を簡潔にまとめる．

ギャップターム期間に開講される科目

- 受講しなければならないわけではありません。
- 何をするか悩んだ場合参考にしてください。

- 神戸GCPプログラム
- 高度教養科目
- 課題解決型アクティブラーニング
- 機械工学概論
- 英語特別講義
- 機械工学インターンシップ

課題解決型アクティブラーニング

- ギャップターム(2年生第2クォーター)における自己啓発と工学を自ら学ぶ意識を高めるための体験型学習として、神戸市内及び近隣地区の中小企業において各企業の特徴・強みを学んだ上で、**企業が有する課題に対する自分なりの解決案を企業との議論を通して考える**課題解決型アクティブラーニングを少人数グループで実施する。
- 科目名:工学課題解決型アクティブラーニング
- 単位数:1単位
- 履修要件:その他必要と認める専門科目として卒業要件に算入

課題解決型アクティブラーニング

《実施スケジュール(昨年度)》

- 4月上旬 申込開始
- 4月下旬 申込締切
- 5月下旬 学生選抜結果の開示
- 6月初旬 事前指導とチャレンジシートの作成
- 6月～8月 各企業におけるアクティブラーニング実施
- 8月～9月 報告会

※注意事項

- ✓ 申請書を提出した後、大学側で履修登録を行いますので、各自で履修登録を行う必要はありません。
- ✓ 申込書に記載した企業に配属になるとは限りません。
- ✓ 課題解決型アクティブラーニングに参加するためには、事前に、**学生教育研究災害傷害保険(学研災)**と**インターンシップ等賠償責任保険(学研災付帯賠償責任保険)**に加入しておくことが必要です。加入申込みの用紙は教務学生係で受け取ることができます。
- ✓ 課題解決型アクティブラーニングに応募する際は、申込書を印刷して教務学生係に提出して下さい。

機械工学概論

- 開講期間:9月下旬の期間にて計8コマ(2~4日間)の集中講義 (日程は後日掲示板貼り出します。)
- 単位数 : 1単位
- 履修方法: うりぼーネットからの履修登録
(登録期間内)
- テーマ: 機械工学科における専門科目の各コース(熱流体, 材料物理, 制御, 設計生産)の講義において修得できる内容が将来どのように役立つかを解説する. 熱流体, 材料物理, 制御, 設計生産の4コースの中から計8コマの講義を行う.

英語特別講義

- 概要
 - ギャップタームの機会を生かして、海外留学や語学学習などにより英語力を向上させる活動を行う。
- 単位数 : 2単位
- 履修方法: 単位認定申請(うりぼーネットでの履修登録の必要なし。)
- 単位認定申請: (1) ギャップターム計画書を提出し, (2) ギャップターム終了後に, 申請書を, 活動報告書および活動を証明する添付資料とともに提出する。審査を経て単位認定を行う。
- その他必要と認める専門科目として卒業要件に算入

英語特別講義

単位認定の目安

海外留学

現地で5日間以上を過ごす海外留学を行った場合、その内容を報告する。現地での活動が約45時間となるものを1単位相当とする。大学が案内する海外留学プログラム、または民間企業が企画する海外留学プログラムを対象とするが、他の活動についても申請内容を見て判断する。

英会話学校

国内の英会話学校で45時間の英語学習を行った場合、1単位相当として認定する。英会話学校からのコース案内および証明書類などを添付書類とする。

TOEICまたはTOEFL-iBTの受験

ギャップターム期間中にTOEICまたはTOEFL-iBTを受験をし、以下の成績を修めたものについて単位認定する。成績証を添付書類とする。

| | |
|-----------------------------------|-------|
| TOEIC : 730点以上 TOEFL-iBT 79点以上 | 1単位相当 |
| TOEIC : 830点以上 TOEFL-iBT 94点以上 | 2単位相当 |

2Q
開催

2019年度工学部部局間協定校

サマースクール情報



li.u LINKÖPING UNIVERSITY

Linköping University
Linköping, Kingdom of Sweden

Linköping University Summer Academy

実施期間: 6月28日～7月27日
 申請条件: 2年生以上 (40単位程度修得)
 使用言語: 英語
 内容: 各コースによる
 費用: 5,500 SEK ≈ 67,000円 (住居費)
 学内定員: 各コース5名まで
 申請期間: 2月1日～3月18日 (※1)
 応募方法: 直接応募 (※2)

※1 原則先着順とします。
 ※2 公印押印が必要なため希望者は前もって教務学生係に申請書を提出すること。

詳細についてはHP
 参照→
goo.gl/s1zz4B



INSA LYON

INSA Lyon
Lyon, French Republic

INNOV@INSA
EUROPEAN PERSPECTIVES
IN ENGINEERING AND INNOVATION

実施期間: 6月21日～7月19日
 申請条件: 英語によるコミュニケーションが可能であること
 使用言語: 英語
 内容: 初級仏語、文化体験、産業と社会マナー・ソフトスキルとイノベーション
 費用: 1820€～5150 € ≈ 23万円～64万円 (住居・食費・活動費を含む)
 学内定員: 5名
 申請期間: 3月29日締め切り (※)
 応募方法: 教務学生係に申し出ること

※応募者多数の場合抽選を行います

詳細についてはHP
 参照→
<http://bit.ly/2CEpwER>



한양대학교 HANYANG UNIVERSITY

漢陽大学校
ソウル特別市, 大韓民国

Hanyang International Summer School (HISS)

実施期間: 7月1日～7月26日
 内容: 工学、デザイン、韓国語、コミュニケーションとメディア等
 費用: 約1,800,000 KRW ≈ 175,000円 (授業料、活動費) 約750,000 KRW ≈ 73,000円 (住居)
 申請期間: 1月14日～5月15日
 応募方法: 直接応募 (※)

※申請者把握のため申請前に教務学生係まで連絡すること。

詳細についてはHP
 参照→
<http://bit.ly/2RIOC6R>



中谷財団 国際学生交流プログラム NAKATANI FOUNDATION

夏季休暇を活用したドイツ大学短期留学募集

夏季修了者は春季に
米大学 短期留学でステップアップ

ドイツ留学期間
2019年 **8月11日～9月20日** (予定)

Point 1 ハイデルベルク大学* カールスルーエ工科大学* **研究室の一員として研究活動**

Point 2 **アカデミックカレンダーを配慮した日程**

Point 3 **必要費用の大部分を財団より支給**

詳細は、協定の募集要項および、中谷財団ウェブサイトをご確認ください。
<http://nkries.jp/2019>



中谷財団国際学生交流プログラム
 ハイデルベルク大学またはカールスルーエ工科大学の
 夏季研修性として、研究室に所属してリサーチを体験

留学期間 8月11日～9月20日で
 募集期間 3月3日まで



全学協定校・その他団体のサマースクールについては全学HP参照



問い合わせは
 工学研究科教務学生係 (担当: 星元)
eng-kyomugakusei@office.kobe-u.ac.jp

機械工学インターンシップ

概要

ギャップターム期間を活かして機械工学に関する実地体験をし、知識や経験を高めるための活動を行う。

単位数 : 1単位

履修方法 : 単位認定申請(うりぼーネットでの履修登録の必要なし。)

(1)ギャップターム型インターンシップ

民間企業でインターンシップ活動を行う。

学生自身がインターンシップ情報を見て、企業への連絡、手続きなどを行う。

(2)研究室インターンシップ

機械工学科の研究室でインターンシップ活動を行う。

学生自身が機械工学科の各研究室の連絡先に内容を相談し、申請を行う。

単位認定申請:

ギャップターム終了後に、申請書を活動報告書および活動を証明する添付資料とともに提出する。審査を経て単位認定を行う。

その他必要と認める専門科目として卒業要件に算入

研究室インターンシップ

申込方法:

各研究室から提示された情報を参考にして、興味あるテーマがあれば当該教員に内容、期間、実施可能性について、直接相談してください。希望者は「研究室インターンシップ申請書」を受け入れ研究室の教員に直接提出し、受講許可をうける必要があります。

<注意>

履修には「**学生教育研究災害傷害保険**」および「**学研災付帯賠償責任保険**」に加入している必要があります。加入申し込みについては教務学生係まで問い合わせてください。

今年度(H29年度)の内容

| 研究分野 | 教員 | キーワード | 受入期間 (実績時間目安) | 受入人数 | 連絡先 申請方法 |
|------|--------------------------|---|--|--------|---|
| MH1 | 山根, 片岡 | 人工心臓の軸受, 流れの可視化法; | 8月中(5日間); | 2人; | 山根隆志, yamane@mech.kobe-u.ac.jp, 5E410室まで; 片岡武, kataoka@mech.kobe-u.ac.jp 自1-602室まで |
| | | 流体中の波動現象の可視化, 数値シミュレーション | 7 or 8月中(2日間) | 2人 | |
| MH2 | 竹中, 浅野, 村川, 杉本 | 熱移動, エネルギー保存, 熱流体現象の実験・計測 | 6~7月で10日間 | 5人程度 | 浅野等, asano@mech.kobe-u.ac.jp 6/9 17時までに上記E-mailに申請 |
| MH4 | 富山, 細川, 林 | 熱・流体エネルギー、環境、気泡、液滴、波、流体計測 | 7/26(水)~28(金) (8時間 x3日) | 3人 | 林公祐, hayashi@mech.kobe-u.ac.jp 7/7までに機械事務室まで |
| MM1 | 阪上, 塩澤 | 赤外線サーモグラフィによる応力測定, 材料・構造物の非破壊検査, 逆問題, FEMによる応力解析 | 応相談 | 5~8名程度 | 塩澤, shiozawa@mech.kobe-u.ac.jp 6/9までにメールにて連絡のこと |
| MM2 | 中井, 田中 (拓), 菊池, 横田 | フラクトグラフィ、マイクロマテリアル、複合材料、事故解析、疲労 | 7月中(5日間) | 3人 | 菊池将一, kikuchi@mech.kobe-u.ac.jp 6/23までに機械事務室まで |
| MM3 | 向井, 田川, 藤居, 池尾 | 軽量構造材料、変形応答解析、宇宙材料、宇宙環境科学、X線回折逆空間解析、表面構造解析 | 受け入れなし | | |
| MM4 | 田中(克), 長谷部, 寺本 | 新合金設計・溶製、力学特性評価、ナノ・マイクロ組織観察、変形・破壊・組織変化シミュレーション | 8月中(4日間) | 7人 | 寺本武司, teramoto@mech.kobe-u.ac.jp 6/23までに機械事務室まで |
| MA1 | 横小路, 田崎 | ロボティクス, 制御工学, 遠隔操縦システム, バーチャルリアリティ, ロボットハンド, 移動ロボット | 2Q中(10日間程度) 時期は応相談 | 6名程度 | 田崎勇一, tazaki@mech.kobe-u.ac.jp 6/11までに上記メールアドレスまで |
| MA2 | 神野, 肥田 | 機能性デバイス、機能性薄膜、エナジーハーベスト、マイクロ流体デバイス | 8月中(4日間) | 4人 | 肥田博隆, hida@mech.kobe-u.ac.jp 6/1までに5E-406まで |
| MA3 | 白瀬, 佐藤, 西田 | CAD/CAM、切削加工、数値制御、5軸制御工作機械 | 希望者と相談 | 最大5名 | 佐藤隆大, sato@mech.kobe-u.ac.jp 1Q中にメールにて連絡のこと |
| MA4 | 磯野, 菅野 | MEMS、マイクロマシン、半導体プロセス技術、センサ・アクチュエータ設計 | 7~9月の期間中(計3日間程度) 初日7月上旬, 中間8月, 最終日9月下旬 | 最大4名 | 菅野公二, sugano@mech.kobe-u.ac.jp 5/31までにEメールにて連絡のこと |
| MA5 | 田浦, 妻屋, 山田 | 製品コンセプト, 設計, CAD, グループワーク | 7/31~8/3(4日間) | 4人 | kyamada@mech.kobe-u.ac.jp, 5/31までに山田(自3-406)にメール |

高度教養科目

| 授業科目の 区分等 | 授業科目等 | 必要修得 単位数 | |
|--------------|--|-------------|---|
| 高度教養科目 | 工学部高度教養科目に関する内規別表に掲げる授業科目のうち機械工学科開講科目 | 0~2 | 4 |
| | 工学部高度教養科目に関する内規別表に掲げる授業科目のうち建築学科，市民工学科，電気電子工学科，応用化学科，情報知能工学科，他学部及び国際教養教育院開講の高度教養科目 | 2~4 | |

- (2) 神戸大学工学部規則第7条第2項に規定する卒業研究を申請しようとする者は，以下の条件を全て満たした者とする。なお入学前の既修得単位の取り扱いは神戸大学工学部規則第10条に従う。
- (a) 基礎教養科目，総合教養科目，外国語科目，情報科目，健康・スポーツ科学の卒業に必要な単位をすべて修得している。
 - (b) 高度教養科目の修得単位数が2以上である。

うりぼーポータル上の情報

高度教養科目の開講科目一覧(平成30年1月現在)

<履修上の注意>

2年生は、「2年次以上履修可能科目」の表の中からのみ科目を選ぶことができます。
 3年生は、「2年次以上履修可能科目」および「3年次履修可能科目」の両方の表の中から科目を選ぶことができます。
 4年生は、「2年次以上履修可能科目」、「3年次以上履修可能科目」、「4年次履修可能科目」のすべての表の中から科目を選ぶことができます。
 ただし、「履修できない学部・学科等」「履修条件」「特記事項」で、自分が履修対象者かどうかをよく確認してください。

<平成31年度開講予定科目>

●2年次以上履修可能科目

| 開講学部等 | 授業科目名 | 履修できない学部・学科等 | 履修条件 | 単位数 | 開講期 | 曜日・時間 | 使用言語 | 時間割コード | 開講形式 | 定員 | 履修登録方法 A：抽選登録 B：通常の履修登録 C：開講学部等の教務担当係窓口等での事前申し込み D：初回授業に出席し申し込み | 担当教員 | 特記事項 |
|---------|--|--------------|------|-----|-----|-------|-----------|--------|------|-----|---|------|-------------------|
| 文学部 | グローバル・アクティブ・ラーニング A (高度教養科目) | 該当なし | | 1 | 未定 | 未定 | 日本語 英語 | 未定 | 演習 | 未定 | 未定 | 未定 | 隔年開講 |
| | English Summer Lectures in Humanities B (高度教養科目) | 該当なし | | 1 | 未定 | 未定 | 英語 | 未定 | 講義 | 未定 | 未定 | 未定 | 隔年開講 |
| | オックスフォード夏季プログラム (高度教養) | 文学部生 | | 2 | 未定 | 未定 | 日本語 英語 | 未定 | 実習 | 未定 | 未定 | 未定 | |
| 国際人間科学部 | グローバル正義論A | 国際人間科学部生 | | 1 | 3Q | 未定 | 英語 | 未定 | 講義 | 20 | A 日程未定 | 櫻井 徹 | H29年度以降入学生のみ履修可能。 |
| | グローバル正義論B | 国際人間科学部生 | | 1 | 4Q | 未定 | 英語 | 未定 | 講義 | 20 | A 日程未定 | 櫻井 徹 | H29年度以降入学生のみ履修可能。 |
| | ジャーナリズムの最前線 (高度教養科目) | 該当なし | | 2 | 後期 | 未定 | 日本語 | 未定 | 講義 | 250 | 未定 | 未定 | |
| | 法律家のシゴト-法曹ヴィジョン | 法学部生 | | 1 | 4Q | 未定 | 日本語 | 未定 | 講義 | 120 | 未定 | 未定 | |
| | Japanese Legal System I (高度) | 法学部生 | | 2 | 後期 | 未定 | 英語 | 未定 | 講義 | 40 | 未定 | 未定 | |